

⑤		④		③	②		①
日	太	だったから。	何	昔の日本人にとって、 米作りは、	地	太陽の	二分三十秒 くらいかかる。
少	陽		よ		平	い	
し	の		り		線	ち	
ず	通		大		から見えたしゅん間。	ば	
つ	り		切			ん	
かわっているから。	道		な			上	
	が、		こ			が	
	毎		と				

「かいせつ」

（１）かかる時間を聞かれているので、具体的な時間が書いてある部分をさがす。

（２）本文に、「太陽が、どうなったときに『日の出』なのか」ということですが、それは、太陽のいちばん上が、地平線から見えたしゅん間です。」とある。

（３）本文に、「一年の中で、『日の出』がいちばん注目されるのは、なんといっても、はつ日の出です。」とある。

（４）―③線部の前の文に、「昔の人々にとって、米作りは、何より大切なことでした。」とある。つまり、昔の人々にとって、米作りが何より大切だったから、作物をゆたかに実らせてくれる神に、いのつたのである。

（５）本文に、「太陽の通り道は、毎日少しずつかわっていつて、一年たつと、元のいちにもどります。春、夏、秋、冬ときせつがかわるのは、このためなのです。」とある。「この」は、「太陽の通り道はくもどります。」の文を指している。

③				②	①
B		A		およそ 四万キロメートル	地球は、丸い形をしています
①	②	①	②		
百	およそ 四百キロメートル	千	およそ 四十キロメートル		

「かいせつ」

(1) 地球が、どのような形をしているかが、書いてある文をさがす。「答えの文」とあるので、最後の「。」までをぬき出すこと。

(2) 本文に、「実は、地球をぐるっとひとまわりすると、その長さは、およそ四万キロメートルもあります。」とある。

(3) AとBについては、終わりの二段落に書いてある。「四万キロメートル」は、地球のひとまわりのおよその長さ。

⑤	④		③	②	①
いうこと。	き	っ	はつ日の出	ア	二分三十秒
	せ	て		くらいかかる。	
	っ	い			
	が	る			
	か	ん			
	わ	が、			
	る	の			
と		こ			

「かいせつ」

(1) かかる時間を聞かれているので、具体的な時間が書いてある部分をさがす。

(2) 第一段落と第二段落到、太陽が、地面の上にすがたをあらわす様子が書いてある。また、第二段落の終わりに、太陽全体を見たときの、筆者の思いが書いてある。

(3) 本文に、「一年の中で、『日の出』がいちばん注目されるのは、なんといっても、はつ日の出です。」とある。

(4) ①線部の後の文が、「これには」という言葉で始まっている。「これ」は、①線部を指しているのので、「これには」につづく部分に、理由が書いてあることが分かる。

(5) ②線部の、次の段落に注目する。この段落は、太陽の通り道が、毎日少しずつかわっていく。

←これによって

春、夏、秋、冬ときせつがかわる。
という文章の組み立てになっている。

③				②	①
B		A		自分の身長	丸い形
①	②	①	②		
百	東京	千	マラソン		

「かいせつ」

(1) 地球が、どのような形をしているかが、書いてある文をさがす。

(2) 本文に、「たとえば、『北海道のヒグマは、体長が二メートルぐらいだ。』と言われれば、自分の身長とくらべられるので、ヒグマの大きさがよく分かります。」とある。

(3) AとBについては、終わりの二段落に書いてある。AとBの、きよりのちがいが手がかりになる。また、「四万キロメートル」は、地球のひとまわりのおよその長さ。



⑤	④			③		②			①		
自 分 の 家	⑤	①	ア	ツ	人	る ようになったから。	ち	わたしたちが、地球の自然を、 思うように、 利 用 す	水 の 星		
	気 候	すむ場所	動物たち	ク	間		が				
				の	が使った		思うように、				
				ゴ	プ						
			ミ	ラ		自					
					ス		分				
					チ		た				

「かいせつ」

(1) 本文に、「地球は水の星だといわれています。」とある。

(2) ②線部の前の、「このことによって」という言葉に着目する。「このこと」によって、わたしたちの住める場所が、少なくなってきたのである。

「このこと」は、直前の『わたしたちは、海や陸といった地球の自然を、自分たちが思うように、利用するようになったこと』を指す。

(3) 本文に、「たとえば、海は、人間が使ったプラスチックのゴミであふれています。」とある。

(4) 本文に、「これによって、動物たちがすむ場所をうしなったり、気候がかわったりするのです。」とある。

「これ」とは、「『森林を切りたおすこと』である。

(5) 終わりの二つの段落に着目する。何かをたとえるときに使う、「～ようだ(な)」「～みたいだ(な)」という言葉が手がかりになる。



⑤				④		③		②			①
自分の家				わたしたちの がなくなる。	やがて 地球から、 住め場所	① 便利な生活	ア 家	のこっ てしま うから。	クのゴ ミが、い つまでも 海に	人間が使 ったプ ラスチ ック	ア
											七
											④
											三

「かいせつ」

(1) 本文に、「地球の表面には、海と陸があり、全体の広さを十とすると、海が七、陸が三です」とある。

(2) ①線部をふくむ段落から読み取る。

海は、プラスチックのゴミであふれている。

プラスチックのゴミは、いつまでも海にのこってしまう。

(だから)世界的な問題になっている。

という、文章の組み立てになっている。

(3) ②線部の直前の、「〜という理由で」という言葉が手がかりになる。

(4) ③線部の直後の部分から読み取る。

(5) 終わりの二つの段落に着目する。何かをたとえるときに使う、「〜ようだ(な)」「〜みたいだ(な)」という言葉が手がかりになる。